

「先進国型漁業・漁業政策とは何か（特集 日本漁業は再生できるか）」

〔概要〕

日本は先進国であるが、漁業は先進国の漁業とは言えないような旧態依然とした操業形態が続き、沿岸と沖合の縄張り争いや所得の低下など、苦境に立たされている。漁業従事者の高齢化、漁獲量の減少、漁業経営の悪化などの困難の主要な原因は資源量の減少にある。まず資源回復を優先的に行わなければどの問題も解決できない。2005年5月、2006年2月に自民党水産基本政策小委員会で報告した内容（関連記事は前回提出済み）の文章化。